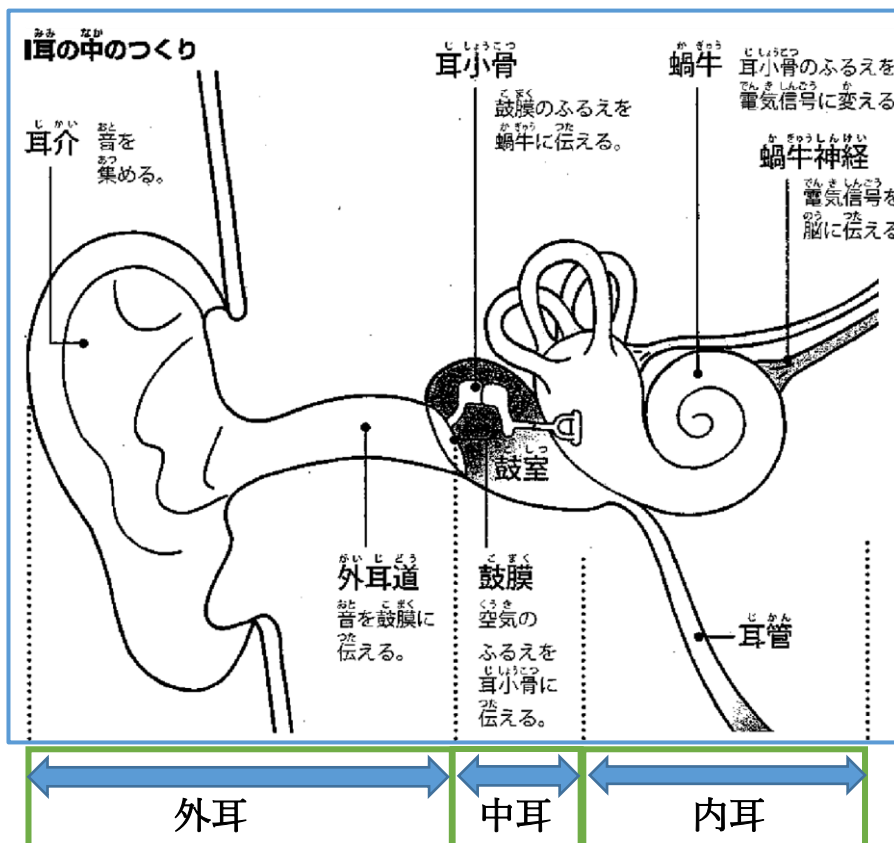


補聴器と耳のひみつ

音が聞こえる仕組み (第5弾)

前は、音の正体が空気のふるえであることを学びました。

今回は耳に届いた「音」が、どのように脳に伝わるのかを見てみましょう。



耳は、外のほうから、外耳・中耳・内耳の3つの部分に分かれています。外耳は、おもに音を集めて鼓膜をふるわせるはたらきをし、中耳は、その空気のふるえを内耳に効率よく伝えていきます。そして内耳は、空気のふるえを電氣的な信号に変えて、脳に伝えるはたらきをしています。

蝸牛が音を感じる仕組み

蝸牛はピアノの鍵盤のように、場所によって感じ取る音の高さが違い、入り口に近いところは、高い音を感じ、奥に行くにつれて低い音を感じています。

内耳にある蝸牛(かぎゅう)。カタツムリみたいですね。だから、カタツムリを意味する「蝸牛」という名前が付けられているのです。